



つながる ひろがる 子どもの救急

子どもの救急 ミニ講座

「つなひろ」第3号の新聞となります。
そろそろ冬に向けての準備の始まりです。

「インフルエンザの予防接種どうしよう・・・」、「インフルエンザ罹ったらどうしたらよい?」、「ノロウイルスやロタウイルス?何を気をつけたらよい?」、
などなど。

毎年必ず流行るインフルエンザや胃腸風邪について、「どんなことに気をつけたらよい?」、「どうなったら病院に行くの?」など一緒に学んでみませんか?

10月～12月の講座日程：

テーマ「冬のお騒がせ感染症～インフルエンザや胃腸風邪に子どもが負けなために～」

10月25日（水）島坂保育園

11月22日（水）六ツ美中保育園

12月6日（水）豊富第二保育園

12月21日（木）藤川保育園

地区子育て支援センター内 時間：13時30分～14時30分

「インフルエンザのワクチン」

毎年必ず流行するインフルエンザ。

寒くなってくる頃、「インフルエンザワクチンって打ったほうがいいですか?」はよく聞かれる質問のひとつです。結論から言いますと、「打った方がいいです。」となります。一般的に他のワクチンと違って、有効率もそこまで高くなく（年齢が小さければ小さいほど低い）、
「せっかくお金払って接種しても罹っちゃうし・・・。」という声もよく聞かれます。インフルエンザワクチンは100%予防できるワクチンというより、あくまでも重症化を予防するワクチンであります。他にも予防策では、手洗い、うがい、隔離などありますが、これもまた絶対的な効果は難しいですよね。インフルエンザワクチンは有効率は低いといわれますが、できる予防策の中ではワクチンが一番効果的ではないでしょうか。

そして一番忘れてはならない、お父さん、お母さんのワクチン接種！大人の方が効果は高いとされているので、“子どもに接種してお父さん、お母さんは接種しない”はあり得ません！
周りも固めてみんなで子どもを守っていきましょう。

《接種対象者》：生後6ヶ月から接種可能となります。

13歳未満：2回接種 13歳以上：原則1回接種

（重度の卵アレルギーやアナフィラキシーのある方はかかりつけ医に相談してみてください。）

※厚労省や新聞等で発表がありましたように、今年はインフルエンザワクチンの出荷量が昨年より少なくなっております。かかりつけ医院で相談しながら計画的に進めていきましょう。